全理事の即時総退陣を断固勝ちとろう

9・30の成果をふまえ、日大の民主化のために

学友諸君

一三五日間にわたってねばり強く、不屈に闘かってきた日大民主化闘争にとって、[illegible]

三〇日は歴史的な偉大な勝利の日となった。

しかし、佐藤首相は、この偉大な成果を「日大の大衆団交はまったく[illegible]である」との談話を発表し、日大理事会は、これに力をえて、二万人学生との公然たる約束をやぶって、全面自己批判など、無責任きわまる態度を表明するにいたった。

三〇日の大衆団交は[illegible]が[illegible]なる辞任、権力の介入、[illegible]をはじめ[illegible]をあげた大衆の力を結集したが、学生の団結力の前で見事に崩れ去ったことをしめしている。

これは[illegible]は専断行為改善によって「[illegible]体制」[illegible]ことをたくらみ、[illegible]を[illegible]め、意識的には要求実現を形骸化させる危機のこと[illegible]ることである。

[illegible]全学の民主勢力に[illegible]をなく、古田体制一掃[illegible]で闘かっている学友に勝利の[illegible]

[illegible]まったく正当なものではない」

[illegible]その[illegible]し、我々のかちとった成果[illegible]、大学理事会は、この佐藤内閣のテコ入[illegible]てのすべての成果を一挙に無にしようとし[illegible]し、自民党代議士に政治献[illegible]ものであるかをしめしている。そして、[illegible]のための[illegible]をたくらみ、反動的な当局の[illegible]我々は[illegible]をもって強く抗議する。

[illegible]、保守的で日和見的であり、[illegible]全学部の教授会を起ち上がらせ当[illegible]を発揮させることができるという貴重な体[illegible]ひるむことなく民主化の闘いを進める。

学友のみなさん

[illegible]日大をつくり出すため、我々、「[illegible]学生自治会は次の要求を[illegible]する。

1 古田体制の全理事の即時退陣をかちとり、再び理事の座につけないよう[illegible]る。（現行の寄附行為では、全理事の再選が可能である）

（つぎにつづく）